

平成 26 年度 事業計画について

1 淡路人形座の運営（期間 平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日）

(1) 人形浄瑠璃の公演

① 淡路人形浄瑠璃館（常設館）での公演

公演場所：「淡路人形座」（南あわじ市）

公演回数：定時公演（5 回／日）、特別公演、臨時公演

淡路人形座設立 50 周年特別公演

② 出前公演

公演場所：ウェスティンホテル淡路他ホテル・旅館、

文化ホール、県立芸術文化センター、県民芸術劇場等

実施予定数：14 公演（平成 26 年 3 月現在）

③ 文化庁の補助事業での公演

平成 26 年度「文化芸術による子供の育成事業」

公演期間：平成 26 年 8 月 24 日～9 月 25 日

公演場所：帯広市立帯広第八中学校他 19 校

（北海道・東北地方の小中学校）

実施予定：20 公演

(2) 営業の計画

① 営業（経営）会議の定例化を図る

② 入場者数・入場料収入、その他の収入の目標設定と達成

2 後継者の養成（人形遣い・浄瑠璃太夫・三味線弾き）

小学生、中学生、高校生、社会人グループ等を対象に人形遣い・浄瑠璃・三味線を指導する。

(1) 指導者を派遣する（学校・団体と師匠名）

実施場所：各学校、地域の公会堂

実施回数：太夫、三味線 4 回／月、人形遣い 3 回／月

① 南あわじ市立市小学校郷土文化部

師匠 浄瑠璃 竹本友喜美

② 福井子供会人形浄瑠璃部

師匠 浄瑠璃 竹本友庄 人形 吉田廣の助

③ 南あわじ市立三原中学校郷土部

師匠 浄瑠璃 鶴澤友勇 人形 吉田徳蔵

④ 南あわじ市立南淡中学校郷土芸能部

師匠 浄瑠璃 鶴澤友吉 人形 吉田史興

⑤ 兵庫県立淡路三原高等学校郷土部

師匠 浄瑠璃 竹本友喜美 人形 吉田新九朗

(2) 活動を支援する（団体名）

① 淡路人形浄瑠璃青年研究会

② 淡路人形芸舞組

(3) 後継者団体の発表会を実施する

「第 31 回淡路人形浄瑠璃後継者団体発表会」

日時：平成 26 年 7 月 20 日（日）午前 10 時～午後 3 時

場所：淡路人形座

3 人形浄瑠璃の普及啓発

(1) 平成 26 年度「文化芸術による子供の育成事業」派遣事業の実施

小学校・中学校・高校を対象に、本物の伝統文化である淡路人形浄瑠璃を体験する

実施場所：南あわじ市立南淡中学校他 3 校

実施回数：4 校 計 7 回

(2) 人形浄瑠璃街道推進事業への参画

① 淡路人形浄瑠璃後継者交流会の実施

日時：平成 26 年 7 月 19 日（土）午後 2 時～3 時 30 分

場所：南あわじ市南淡公民館

② 淡路人形浄瑠璃魅力発信事業

・ 淡路人形浄瑠璃「西宮公演」

日程 平成 27 年 1 月 6 日 場所 県立芸術文化センター

・ 教育関係者向け淡路人形浄瑠璃体験講座

日程 平成 26 年 8 月 5 日 場所 南あわじ市南淡公民館

(3) 淡路人形座設立 50 周年事業

① 淡路人形座 50 周年記念写真展

淡路人形座設立からこれまでの活動を分かりやすく掲示する。

展示場所：南淡公民館他、市内ショッピングセンター等

② 淡路人形座設立 50 周年記念誌の編集（平成 27 年度発刊）

(4) 人形浄瑠璃芝居の人形その他道具類の収集・展示

淡路人形浄瑠璃館の側面及び玄関の一部、客席を利用して人形、衣装、かしら、古文書、年表、金看板等を展示している。

展示内容：人形 1 体、衣装 2 着、かしら 14 個、

古文書 1 冊、年表 3 枚、金看板 2 枚、人形の仕組み 1 体

（6 ヶ月に 1 回の頻度で展示物を入れ替え）

4 人形浄瑠璃芝居に関する調査研究

(1) 調査結果の公表（淡路人形座 Web サイト）

人形浄瑠璃に関する古文書やかしら、道具類の年代、原材料、私用演目等を調査研究する。

(2) 関係機関、関係者へ配布

調査研究には、大学教授、人形浄瑠璃研究者、淡路人形浄瑠璃資料館長などの専門家の助言・指導を仰いでいる。

(3) 記念誌のための資料収集

5 文化庁補助事業の実施

文化遺産を活かした地域活性化事業